

## 編輯後記

あらたしきとしのはじめのはつはるのけ  
ふふるゆきのいやしけよごと

新春と共に第四号を学界におくる。本誌も  
漸く軌道に乗つて、年二回ながら、ともか  
く順調に出るやうになつたことは、よろこ  
ばしい限りである。

本号には本学教官の論稿のみを収載し  
た。学界を驚かすやうな内容には或いは乏  
しいかも知れない。しかし何れも眞摯な努  
力の結晶である。書きなぐりでもなけれ  
ば、小器用にまとめたものでもない。脂汗  
のにじんだものである。それは牛の歩みに  
似てゐるかも知れない。しかし学問は、牛  
の歩みのやうに、よしんばのろくとも、一  
歩々々堅実に進められるべきものではある  
まいか。われ／＼は、都会の舗装道路を疾  
駆する高級車を羨まず、田舎の石ころ路を

牛のやうにしつかりとした足取りで歩いて  
行きたい。

昨秋、市内須崎のバラックからこゝ香椎  
の校舎に移つて来た。国道に沿うた高台二  
万坪の敷地、研究室の窓から望めば、駱駝  
の背に似た立花山の緑が指呼の間に迫り、  
後の丘に登れば、博多湾が松林の間に光つ  
てゐる。まことに環境に恵まれた学園であ  
る。縣の財政難で研究室の設備は甚だ不十  
分であるが、われ／＼は氣分を新たにしてい  
張り切つてゐる。不退転の意氣と努力と  
で、あらゆる困難を克服して行く覺悟であ  
る。(K)

### 執筆者紹介

下條 信敏 教授(英文学)  
中島 源治 助教授(英文学)  
小島 信之 助教授(英文学)  
北西 露太郎 教授(国文学)  
倉野 憲司 教授(国文学) 文博  
安部 弘 助教授(法学)  
村井 觀亮 助教授(哲学)

昭和二十六年十二月二十五日印刷  
昭和二十七年一月一日發行

### 第四号

福岡縣香椎町 福岡女子大学

「文芸と思想」編輯委員

編輯者 倉野 憲司  
小島 觀亮

發行者 福岡女子大学

印刷者 間 藤次郎

福岡市渡辺通四丁目

印刷所 秀巧社印刷株式会社